

工業技術研究推進会議 生産技術部会議事録	平成 14年 11月 6日 (水)
-------------------------	-------------------

次世代クリエイティブソリューションシステムの開発 (中間評価)
------------------------------------

質問	回答
----	----

F委員	靴の製作はどの程度進行していますか？	2週間前に試作の靴が完成しました。システムを使用しつつ靴の加工技術を習得中です。
E委員	靴の特徴、例えば歩きやすさなど、どのようにデータとして扱うのですか？	足囲が良い靴の条件なので、足の長さ足囲を三次元CADで取り込み、靴づくりを多角的に設計することで歩きやすさを実現します。
A委員	メッシュの細かさはどのくらいですか？	5mm角です。
	引っ張り具合の差により、メッシュ構造が変わったりしないのですか？	特徴点を取ることができるので問題ありません。
	靴製作時には図面を展開して使うのですか？	そのとおりです。CADで取り込んだデータの展開図を自動化できます。
	実際製作した靴を使用しての感想はどうですか？	粗が目立って、評価する段階ではありません。これから本格的に取り組めます。
D委員	システムの標準化はどうするのですか？	企業で実施予定です。
C委員	三次元切削加工装置は、客個人に応じて一つ一つ型を作るのですか？	そのとおりです。材料を吟味するなど、カスタムメイドで作成します。
	実際作成した靴が個人にフィットしているかをどうやって検出するのですか？	官能試験になるのですが、評価するのは難しいです。
B委員	個々の革の特性が異なるので、自分たちで靴を作るのではなくシステムを靴屋に販売するほうが良いと思うのですが。	靴作成の協力会社と連携して取り組むことも検討しています。
F委員	特許はどこのものですか？	岩手県です。
	特許は企業と共同で出せばよかったのではないですか？	共同で出す場合、企業側が費用を負担しなければならなかったので、県で申請しました。
E委員	靴以外の分野に応用などはできますか？	福祉の分野で義手、義足などにも応用できます。